

## 建設業を女性が働きやすい職場にするために

## 建設ウーマン意見交換会開催！



■女性入職促進委員会を発足し、第1回委員会を開催！

当協会も国や県の動きを受けて、平成27年8月に13支部に推薦をお願いし、7名からなる女性入職促進委員会が発足しました。第1回委員会は平成27年12月に実施し、建設業で活躍する女性をめぐる全国的な動きや、建設業界に入ったきっかけ、仕事のやりがい等につ



び企業や求職者の実施に至った背景や取組みの成果について述べられました。展望として「今年度始めた取組みを定着させ、引き続き企業からの情報収集及び企業や求職

者・学生等への情報発信に取組んでいく予定。国や業界団体に対しては、モデル工事現場の波及や定期の休日取得の推進などの環境整備に向けた全国的な取組みの推進、育児・子育て等に関する支援情報の充実を要望する」と締めくくられました。

他にも、会員企業及び協力会社を対象にアンケートの実施や「現場環境マニュアル」やそれに伴う「チェックリスト」の作成、「女子小中学生向け現場見学会」や「女性活躍推進フォーラム」、「けんせつ小町セミナー」、そして、子育て期の不安を解消することを目的に情報交換の場として「ワールドカフェ」を開催しています。



参加者の皆さん(右から)  
田中 ゆう子さん(日建連:東亜建設工業株)、秋枝 照美さん(協会委員:共栄産業株)、西川 敬子さん(協会委員:勝井建設株)、梅澤 知栄さん(協会委員:機技工団)、重富 加奈さん(協会委員:シマダ株)、三浦 桂子さん(日建連:機大林組)、堀川 祐三子さん(日建連:機奥村組)

## ■建設業で活躍する女性を5年間で2倍に！

国土交通省では平成26年度に女性技術者及び技能者を「けんせつ小町」と命名し、5年間で2倍に増やすという目標を掲げています。また、山口県土木建築部においても、平成27年度に「やまぐち建設産業女性の活躍支援ネットワーク(以下、山口女性活躍NW)」を立ち上げ活動しています。

## ■平成28年度は第2回委員会を開催！

## ■山口県の取り組み

平成28年10月5日、日建連けんせつ小町委員会が山口県女性活躍NWとの意見交換を行うため、山口県を訪れる機会がありました。山口県土木建築部は本協会に対して、女性入職委員会の出席を要請したこと、第2回委員会は「他団体との意見交換」としました。この意見交換会は、女性の入職促進の取組みや、労働環境づくりなどの意見共有を目的として開かれたもので、日建連側3名、協会側4名の計7名が参加しました。

## ■日建連の取り組み

次に、日建連事務局より、「担い手確保・育成」と「女性活躍推進の取組み」の活動背景の説明があり、その中で10年以内に確実に到来する100万人規模の大量離職問題に触れ、今後10年を見据えた担い手確保・育成の目標と取組みについて発表されました。

発表された日建連の取組としては、入職促進PR活動として平成26年8月から建設業においても多くの女性が活躍していることをアピールするため、「けんせつ小町工事チーム(旧称・なでしこ工事チーム)」の登録を開始。平成28年9月現在で、92チームが登録しています。取組みとして会員各社に工事現場から女性の活躍を応援するPR看板等を掲示してもらい、建設業が女性にとって活躍の場になっていることを幅広くアピールしています。



## ■山口県建設業協会の取り組み

最後に山口県建設業協会の橋本主査から、山口県内における女性入職推進の取組みについて報告がありました。協会の主な活動内容としては広報活動、入職支援活動、調査活動等で、広報活動では山口労働局や県の土木建築部に対しハローワーク用PR資料や県政放送、プロモーションDVD制作などへの協力。入職支援活動として、高校生への現場実習や見学会、建設業経理事務士の資格取得支援などに取り組んでいます。調査活動では協会会員企業を対象に様々なアンケートを行い、女性用トイレや更衣室の設置が増え、女性の職場環境が改善されてきていることが分かりました。

意見交換では、「仕事で疲れたときのリラクゼーション」「高校生の現場見学での女性の反応」「生産性向上の省人化」「女性の就業関係の改善」などさまざまなテーマを基に多くの意見が飛び交い、有意義で活発な議論となりました。これらの内容を求職者や学生に情報発信するとともに女性の働きやすい環境づくりに活かすことで女性の人職促進に繋がっていきます。